

2003年8月13日

介護サービス分野におけるビジネスモデル特許取得へ

明治生命保険相互会社（社長 金子 亮太郎）は、2003年8月1日、特許庁より「ケア・マネジメントシステム、ケアプラン作成方法、およびケアプラン作成プログラムを記録した記録媒体」に関するビジネスモデル特許につき、それを認めるとの審決を受けましたので、お知らせします。

<ビジネスモデル特許の内容>

- ①高齢者の要介護レベルを、イラストを用いた簡単な画面に入力することで、T A Iタイプ（高齢者要介護区分）に分類（注）
- ②それぞれのタイプに応じて、データベースに収録されている推奨プランを自動的に選定
- ③推奨プランについて、必要に応じ、利用者・相談者（家族等）の要望を反映したオーダープランに修正
- ④利用者および相談者に判りやすく、介護サービスや介護用品などをイラストで表示
- ⑤介護サービスおよび介護用品について、居住地域の介護サービス情報を基に、実情に即したケアプランを作成
- ⑥公的介護保険における居宅介護支援のための必要書類を全て作成

（注）T A I（Typology of the Aged with Illustrations）

→イラストを使った高齢者アセスメント手法。本特許は、同手法をベースとしたコンピュータによるケアマネジメント・システム

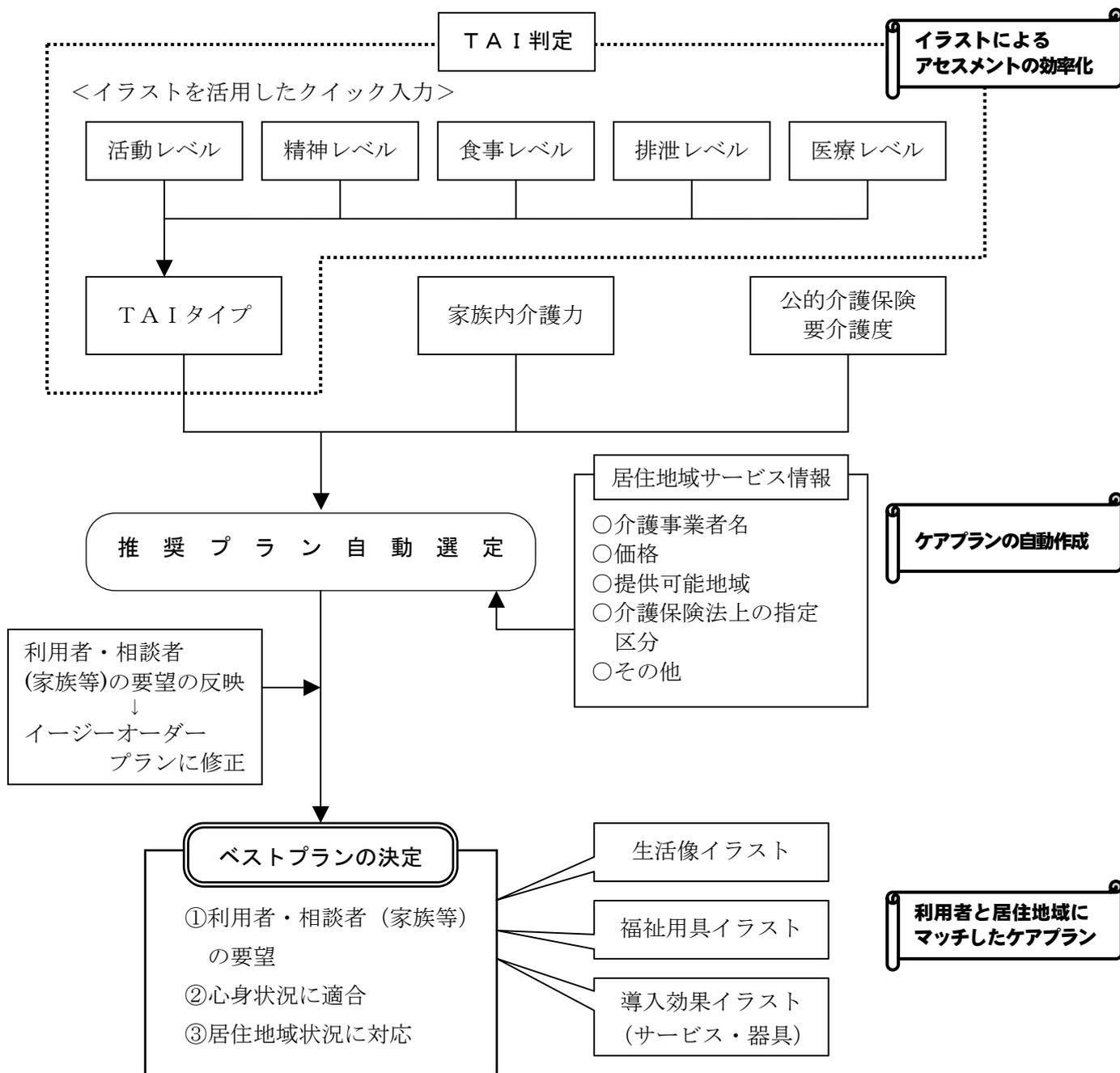
当社は、ご契約者へのサービス拡充をめざし、新たなビジネスモデルの構築に取り組んでまいりました。

今回の特許審決は、介護分野におけるサービスのクオリティ向上に貢献すべく、介護分野での相談からケアプランの作成にいたる過程を、居住地域の実情に応じ、科学的かつ効率的に行うという内容が評価されたものです。

当社では、今後ともお客さまに充実した商品・サービスをお届けしていきます。

◎ビジネスモデル特許

～ケア・マネジメントシステム、ケアプラン作成方法、およびケアプラン作成プログラムを記録した記録媒体



【明治生命の介護商品・サービス体制】

